

伊賀市 事務事業事前評価シート

新規・経常的事務事業

コード	名 称	
事業名	2011	介護予防一般高齢者施策事業
基本施策	6	高齢者の健やかな生活を支える

担当部課名	地域包括支援センター
作成者氏名	増永由美
連絡先	26-1521

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)				
本市に居住する特定高齢者	地域において介護予防に資する自発的な活動が広く実施され、地域の高齢者が自ら活動に参加し、介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるような地域社会の構築が目指せる。				
本年度事業内容 (事業の種類) ①介護予防普及啓発事業 ②地域介護予防活動支援事業 ③介護予防一般高齢者施策評価事業					
開始年度	平成 18 年度	終了年度	平成 年度	根拠法令・要綱等	地域支援事業実施要綱

投入資源

		H18	H19	H20
①投入人員	正規職員 (人)	0.3	0.3	0.3
	人件費合計(A)	2,160	2,160	2,160
②支出内訳(千円)	事業費(B)	13,840	22,840	27,840
	委託料	11,000	19,000	24,000
	その他	2,840	3,840	3,840
	合計(A+B)	16,000	25,000	30,000
③財源内訳(千円)	特定財源			
	国県支出金	6,000	9,375	11,250
	地方債			
	受益者負担			
	その他特財	8,000	12,500	15,000
一般財源	2,000	3,125	3,750	
上記①～③に関する特記事項				

活動指標

活動指標	単位	目標値	
		平成 18 年度	年度
啓発用パンフレット配布	戸	38,500	
介護予防教室	人	730回/13,140	
閉じこもり・認知症予防講座	人	100回/3,400	
介護予防地域サポーター養成講座	人	40回/1,080	

評価指標

事業の目的の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	H19目標値
介護予防教室	回/18人×730回=参加者数を指標する。	人	730回/13,140
閉じこもり・認知症予防講座	回/34人×100回=参加者数を指標する。	人	100回/3,400

評価	必要性	4	介護予防事業を行うことにより、被保険者が要介護状態又は要支援状態となることを予防する。
価	有効性	4	高齢者に対し、自立した日常生活を営むことができるよう、継続的かつ総合的なサービスが提供される。
	効率性	4	地域の高齢者が自ら活動に参加し介護予防に向けた取組みが主体的に実施されるような地域社会の構築を目指す。

総合評価

A